

おやま 市議会だより



第304号

●主な内容

令和3年度一般会計補正予算を可決 令和2年度全特別会計決算を認定

議案とその内容……………	②	委員会報告……………	④～⑦
議員提出議案……………	②	市政一般質問……………	⑦～⑪
審議結果……………	③	議会日誌……………	⑫
陳情……………	④	次回定例会の予定……………	⑫
人事案件……………	④		

令和3年11月1日号



小山の空にかかる虹（撮影地：城山町 撮影者：Photo Art きらら 大島 玲子 氏）



小山市議会

編集 議会広報委員会

9月

定例会のあらまし

令和3年9月2日～9月29日

令和3年第3回(9月)定例会は、9月2日から29日まで28日間の会期で開かれました。

本定例会では、令和3年度一般会計補正予算案をはじめ、令和2年度全会計決算の認定案、条例の一部改正案、人事案件および陳情などについて審議しました。

9月2日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案28件、報告5件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件3件を可決しました。

9月6日から8日は、4会派および8人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

8日は、上程議案に対する質疑の後、議案および陳情の各委員会への付託を行いました。その後、補正予算案1件が追加上程され、これを可決しました。また、9月13日から17日には各委員会が開かれ、審査を行いました。

9月29日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案24件を可決・認定、議案1件を継続審査、陳情1件を継続審査としました。さらに議員提出議案1件が上程され、これを可決し、定例会を閉会しました。

議員提出議案

定例会最終日、荒井覚議員ほか4名の議員から「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」が提出され、原案どおり可決しました。

主な議案

9月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをご紹介します。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第4号)―歳入歳出それぞれ1億7149万9千円の増額補正。学童保育クラブ自粛保育料補助事業費、二酸化炭素濃度測定器設置事業費、新型コロナウイルス感染症抗原検査事業費、新型コロナウイルス感染症検査費用補助事業費、抗原検査キット購入助成事業費、新しい働き方支援事業費など、補正後の予算総額は661億2227万1千円。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第5号)―歳入歳出それぞれ6億5820万円の増額補正。小山評定ふるさと応援事業費、小山評定ふるさと応援基金積立金、転入勤労者等住宅取得支援事業費、ICT教育環境整備事業費、豊田中学区新設小学校整備事業費など、補正後の予算総額は667億8047万1千円。

◆指定管理者の指定について―小山市学童保育館の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により提案するもの。

施設名称…(仮称)豊田中学区新設小学学童保育館および小山城東小第二学童保育館
指定管理者となる団体…特定非

営利活動法人 三楽

指定の期間…令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

◆財産の取得について―小山市消防署の災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車を購入することについて、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により提案するもの。

取得財産…災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車 1台
購入方法…指名競争入札
購入金額…6094万円
購入先…株式会社モリタ 東京支店

納期…令和4年3月18日



◆コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書―新型コロナウイルス感染症のまん延により地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地方自治体ではコロナ禍への対応や地域の防災・減災などの喫緊の課題に迫られているほか、社会保障関係経費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が求められており、その確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。よって、国において、令和4年度地方税制改正に向け、令和4年度以降3年間の地方一般財源の十分な総額の確保などを確実に実現するよう強く要望するもの。

議決結果

令和3年第3回定例会（9月）審議結果

議案番号	議 案 名	議決結果	
予 算			
議案第70号	令和3年度小山市一般会計補正予算（第5号）※1	原案可決	全会一致
議案第71号	令和3年度小山市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第72号	令和3年度小山市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第98号	令和3年度小山市一般会計補正予算（第4号）※1	原案可決	全会一致
決 算			
議案第73号	令和2年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査	全会一致
議案第74号	令和2年度小山市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数
議案第75号	令和2年度小山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第76号	令和2年度小山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第77号	令和2年度小山市病院事業債管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第78号	令和2年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第79号	令和2年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第80号	令和2年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第81号	令和2年度小山市小山東部第二工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第82号	令和2年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数
議案第83号	令和2年度小山市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	全会一致
議案第84号	令和2年度小山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	全会一致
議案第85号	令和2年度小山市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	全会一致
条 例			
議案第86号	小山市税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第87号	小山市個人情報保護条例及び小山市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第88号	小山市手数料条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第89号	小山市学童保育館条例の一部改正について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第90号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第91号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議案第92号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第93号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第94号	財産の処分について	原案可決	全会一致
議案第95号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致
議案第96号	公平委員会委員の選任について	原案同意	全会一致
議案第97号	教育委員会委員の任命について	原案同意	全会一致
議員提出議案			
議第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案の提出について	原案可決	全会一致
陳 情			
陳情第3-3号	陳情書（「ウイグル人等の自由、基本的人権の尊重及び法の支配が保障されるよう働きかけることを求める意見書」の提出）	継続審査	全会一致

※1 議案第70号は一般会計補正予算（第4号）として上程されましたが、議案第98号一般会計補正予算（第5号）が議案第70号より先に可決されたことから、議長が計数整理を行い、同議案の補正予算の号数を入れ替えました。

賛否一覧表（電子採決）

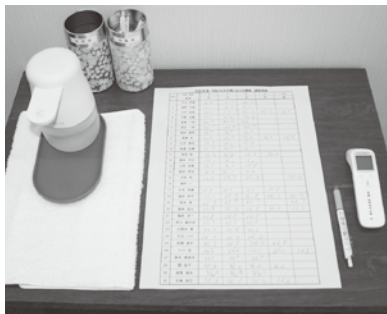
	議決結果	賛 成	反 対	片山	細野	大平	平野	渡邊	渡辺	嶋田	高橋	土方	佐藤	岡田	橋本	小林	森田	苅部	植村	大木	福田	荒井	篠崎	福田	荒川	山野	大出	安藤	小川	青木	関	塚原	石島				
				照美	大樹	拓史	正敏	一郎	一男	積男	栄	美代	忠博	裕	守行	英恵	晃吉	勉	一	英憲	幸平	覚	佳之	洋一	美代子	孝	ハマ	良子	亘	美智子	良平	俊夫	政己				
予 算																																					
議案第74号	原案認定	27:1		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案第82号	原案認定	27:1		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

※ ○＝賛成 ×＝反対 ※ 議長（福田 洋一）は採決に加わりません。

本定例会は、感染症対策を講じて開催しました。



各種会議ではパーティションを使用



議員は毎朝検温を行い体調管理表に記入

本定例会では、小山市議会で初めての電子採決が行われました。



議場モニターに表示された採決結果

陳情

9月定例会では、新たに受理した陳情1件について審議した結果、継続審査としました。

(審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください。)

新たに受理したもの

陳情1件

●陳情書(「ウイグル人等の自由、基本的人権の尊重及び法の支配が保障されるよう働きかけることを求める意見書」の提出)

〔提出者〕

小山市八幡町1丁目

鈴木 博之

〈趣旨〉 中国政府によるウイグル人など少数民族への抑圧や香港での人権侵害が続いている。

中国の人権侵害には、ともにG7を構成する国々が加盟する欧州議会や、米国議会等の取り組みに倣い、国連憲章と国際法の遵守を迫る国際世論を高め、外交的に包囲していくことが重要である。よって、国に対し、国際社会との連携のうえ、中国において、国際社会における普遍的価値である自由、基本的人権

の尊重および法の支配が保障されるよう働きかけることを強く求める意見書の提出を求めるもの。

▽審議結果 継続審査

人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

小山市西城南1丁目

高橋 剛(新任)

昭和39年10月29日生

◆公平委員会委員の選任について

小山市大字立木

大森 武男(再任)

昭和18年7月21日生

◆教育委員会委員の任命について

小山市駅東通り2丁目

大橋 雅子(新任)

昭和35年9月20日生

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総務



▼小山市個人情報保護条例及び小山市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について

問 マイナンバーカードの交付率およびカードを所有することによるメリットは。

答 小山市におけるマイナンバーカードの交付率は、令和3年9月5日時点で39・1%です。マイナンバーカードを所有するメリットについては、身分証明書として利用できる点や、各種証明書のコンビニ交付など、行政手続きの簡略化ができる点などが挙げられます。また、令和3年10月からは、健康保険証としても利用できるようになり、今後は運転免許証としても利用できるよう計画されているなど、利便性が向上する予定です。

▼財産の処分について(小山東部第二工業団地工業用地)

問 小山東部第二工業団地の分譲による売却収益額は。

答 総事業費と総売却額の差引き2億4700万円が事業収益となります。

▼建設工事請負契約の締結について(小山市役所新庁舎外構Ⅱ)

期工事)

問 旧庁舎解体後の駐車場整備予定は。

答 旧別館跡に40台分、旧本庁舎跡に80台分を整備する予定です。また、これまで旧保健福祉センター西側駐車場に駐車していた健診車も新庁舎西側に駐車することができるようになります。



駐車場として整備予定の旧別館跡

▼財産の取得について(災害対応特殊小型動力ポンプ付水槽車)

問 装備品のうち「林野火災用放水器」はどのような地域での使用を想定しているか。

答 河川地域や渡良瀬遊水地などの取水可能な水利が乏しい地域での活動を想定しています。

▼財産の取得について(消防ボ

ンブ自動車)

問 今回導入する消防ポンプ自動車と同型の車両の台数は。

答 令和元年度・令和2年度で3台整備しており、今回導入する2台と合わせて5台となります。

問 消防団の消防ポンプ自動車の今後の整備方針は。

答 今後も3・5トン未満のオートマチック車両での整備計画を立てていきます。



導入予定の消防ポンプ自動車（同型車）

総務（陳情）

▼陳情書（「ウイグル人等の自由、基本的人権の尊重及び法の支配が保障されるよう働きかけることを求める意見書」の提出）

意見 小山市には「人権尊重の社会づくり条例」があり、また、

推進しているSDGsの前文にも「すべての人の人権を実現し、ジェンダーの平等、そして女性や女の子の能力を引き出すことを目指します。」とあるため、人権を確立していくことは非常に大切なことだと思う。今年6月に国連の人権理事会で、日本を含め米国、欧州などが中国に対して深刻な懸念を抱いているという共同声明が発表されているほか、G7サミットにおいても中国に関する首脳声明が採択されており、日本としてもかなり働きかけをしていると思われる。もう少し状況を見るため継続審査としたい。

意見 中国政府によるウイグル

人など少数民族への抑圧や香港での人権侵害はあってはならないことだと思っている。この問題については、しっかりと向き合って議論していく必要があると考えるので継続審査としたい。

民生



▼令和2年度小山市国民健康保

険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について

問 歳出の不用額が約10億円となった主な理由は。

答 新型コロナウイルス感染拡大による被保険者の受診控えにより、医療費などの保険者負担

分である保険給付費が、前年度比でマイナス2・6%、およそ2億7200万円減少したものです。加えて、新型コロナウイルス感染拡大や緊急事態宣言の発令に伴い、集団健診を一時中止したことや、訪問型の特定保健指導などの実施が困難になったことにより、特定保健指導などを行う保健事業費が大幅に減少したものです。

問 新型コロナウイルス感染症

の影響による国民健康保険税の

減免制度と徴収猶予の状況は。

答 新型コロナウイルス感染症に特化した国民健康保険税の減免制度については、令和3年度も継続して実施しています。徴収猶予については新型コロナウイルス感染症による特例はなく、一般的な徴収猶予で対応しています。

問 国民健康保険税率の今後の

変更予定は。

答 平成30年度以降、単年度収支は毎年赤字で、今後も収入不足の状態は変わらないと考えています。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、所得の減少等が一定程度見込まれます。そのため、令和4年度は税率改正を行わず、基金の残額を活用して国保財政を維持することを検討していますが、令和5年度以降は税率改正について検討していかねばならないと考えています。

▼令和2年度小山市病院事業債管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 新小山市民病院の医療機器の整備状況は。

答 高額なものでは、腹腔鏡手術の装置や心臓超音波診断装置、外科用のレントゲン撮影装置などを購入し、そのほか老朽化に伴う電動ベッド、手術台、電子カルテの改修などを行っています。



▼令和2年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 墓園やすらぎの森事業の整備進捗状況は。

答 現在、第18号墓所区の整備が終了し、令和2年度末時点で、3070基の使用を許可しています。将来的には3925基の墓地を整備する予定で、現在約78%の整備が終了し、今後は令和6年度に第19号墓所区を整備します。

教育経済



▼令和2年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 排水機場の試運転状況は。

答 毎年5月に操作員を集めて点検を行うとともに、ポンプの試運転も実施しています。

▼令和2年度小山市小山東部第二工業団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 小山東部第二工業団地の企業の操業状況は。

答 令和2年度に販売した3社のうち、トヨタL&F栃木株式

会社が既に操業しています。

問 工業団地に企業を誘致する際のPR方法は。

答 小山市が実施している工業団地分譲時の優遇策について、小山市ホームページなどでお知らせしています。

▼令和2年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 テクノパーク小山南部造成事業の進捗状況は。

答 令和4年度で造成が終了し、その後、分譲を開始する予定です。

建設水道



▼令和3年度小山市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 大行寺排水区雨水幹線工事事業の継続費総額は、当初の見積もりでは6億1500万円であったが、4億円増額になった理由は。

答 当初の6億1500万円は、推進工事の標準的な単価および図面上で測定した延長をもとに積算したものです。しかし、その後の実施設計の過程で行った

土質調査により、非常に水が浸透しやすい土質であることが分かり、その中で実施可能な工法として泥濃式推進工法に改良を加えた特殊な工法となるため、4億円の増額になります。

▼令和2年度小山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

問 令和2年度は4カ月分の水道料金の減免により減収減益となっているが、減免以外の影響はあったのか。

答 新型コロナウイルス感染症に伴う在宅率の上昇により、家事用の使用水量が増え、減免した額を若干補う営業収益がありました。

予算審査



▼令和3年度小山市一般会計補正予算(第5号)

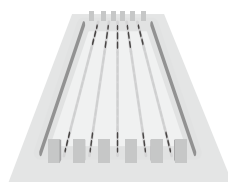
問 小中学校外国語指導助手(ALT)配置事業について、人材確保の状況は。

答 令和3年度で派遣ALTの契約が終了することに伴い、令和4年度以降の契約はプロポーザル方式を採用し、市内全校で

派遣契約によるALTの配置をしたいと考えています。

問 小・中・義務教育学校で民間のプールを活用することについて、今後の方針は。

答 プール施設についてはコストがかかるため、今後は複数校による相互利用や、スイミングスクールなどの民間の施設を活用する流れになると考えています。



問 小山評定ふるさと応援寄付金の現状は。

答 ふるさと納税についての全国的な周知や、コロナ禍における巣ごもり需要により、令和3年8月末現在、寄付金額および件数が前年比の約2倍となっています。

問 多言語ガイドブックの言語ごとの発行部数、掲載内容および配布先の予定は。

答 言語ごとの発行部数は、日本語と英語が300部、やさしい日本語が200部、スペイン語とポルトガル語が500部、

ベトナム語とネパール語が200部、ヒンディー語およびパキスタンの言語が300部で合計1500部となります。掲載内容は、多文化共生総合支援センターが新庁舎に移転したことや、当該センターが対応する言語の種類および相談員の方が実際に受けた相談の事例集を掲載します。配布先については、庁舎内の各窓口、出張所のほか、ハローワークなど外国人の方が訪れる場所に配布します。



問 転入勤労者等住宅取得支援事業の実績および令和4年度の見込みは。

答 本制度の申請件数は年々増加し、令和2年度は230件となりました。このたび、地方創生の本旨に沿うよう、対象者を東京都、埼玉県、千葉県および神奈川県からの転入者に限定しました。令和3年度の申請件数は、経過措置を設けたことによる駆け込み需要により増加しています。令和4年度については減少する見込みです。



市政を問う

9月定例会 市政一般質問

※発言順に掲載 ○は会派代表質問を行った議員

会派代表質問

自民未来塾

荒井 寛	関 良平
小川 亘	福田 洋一
篠崎 佳之	福田 幸平
岡田 裕	○高橋 栄
渡邊 一郎	



高橋 栄
議員

質問事項 ①総合政策行政②新型コロナウイルス感染症③小山市の防災対策④教育行政

問 コロナ支援策を令和3年度補正予算として、小山市独自の支援対策をしっかりと講ずべきと考える。市の考え方を問う。

総合政策部長 これまで都道府県のみが対象であった事業者支援を目的とした新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、市町村も交付対象に追加され、約1億円が交付決定されました。これを受け、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により影響を受けている

事業者の支援や、感染症拡大を抑制する環境改善等の対策を実施するため、中小企業者等に対する一時支援金の拡充や抗原検査事業の実施等について早急に取りまとめ、令和3年9月定例会中に追加の補正予算案を上げます。

問 5月に運用開始した小山市災害対策本部システムでは、避難所の混雑状況を把握し、避難すべき場所の指示ができるのか。

危機管理監 災害情報システムは、職員が通常業務で使用するすべての端末から情報の入力、閲覧ができるため、担当職員は避難所の開設状況を確認しながら、避難情報を自治会等に連絡できます。また、災害対策本部システムの整備に併せて、市民に向けた災害情報をお知らせするポータルサイトを作成しました。このサイトでは、避難情報のほか避難所の開設状況も揭示しており、市民はこの避難所に避難可能か確認することができ、す。

小山市防災
ポータルサイト



<https://bosai.city.oyama.tochigi.jp/>

市政会

小林 英恵 ○安藤 良子
 大出 ハマ 植村 一
 橋本 守行 嶋田 積男
 渡辺 一男 細野 大樹



安藤 良子
 議員

質問事項 ①市長の市政への取り組み②文化振興計画③男女共同参画社会形成④働き方改革

問 市長の公約である「田園環境都市小山」のまちづくりについて、今後どのような方策で取り組んでいくのか。

市長 「田園環境都市小山」のまちづくりを進めていくためには、市街地整備や農地・緑地の保全といった特定の事業だけを行うのではなく、市民一人一人が日々の暮らしの中で「大切なもの」を見つけ、守りながら生き生きと暮らし、未来につなげていく中で真の豊かさを実感し、自己実現を目指すことができるSDGsの実践と一体化して行うことが必要です。そのために、

市民や事業者、行政などすべての人の役割、目指すべき方向を示すビジョンの策定に取り組んでいきます。このビジョンに沿って政策の体系化・統合化を図り、各事業を市民の皆さまと協働して取り組むことで、都市環境と自然豊かな田園環境が調和した、市民の皆さまが生き生きと暮らし、子どもや孫たちが住み続けたいと思える「田園環境都市小山」のまちづくりを着実に進めたいと考えています。

問 小山市の文化行政の指針となる「文化振興計画」はあるのか。文化芸術振興の推進に向けての役割は認識できているのか。

教育部長 文化芸術の推進に向けて、①個性豊かな地域づくりを進めるための「市民と行政の協働」、②「市民の役割」、③市民の自主的で主体的な活動を支援し、文化芸術に触れる環境や機会を整備することを「行政の役割」とした3つの役割を位置づけ、「第2次小山市文化芸術振興ビジョン」の名称を「小山市文化芸術振興計画」に改め、次期計画を策定します。

公明党議員会

荒川美代子 佐藤 忠博
 ○大平 拓史



大平 拓史
 議員

質問事項 ①市長の政治姿勢②コロナ感染症対策③教育行政

問 新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む方のために、相談窓口を設置しては。

保健福祉部長 新型コロナウイルス感染症の後遺症については、厚生労働省の医療・公衆衛生分野の会議でも報告されており、その相談先としては、県が設置する電話相談窓口で、土・日・祝日を含め24時間対応している「受診・ワクチン相談センター」があります。小山市としては、市民の皆様がこの窓口を知っていただくことで、後遺症などの新型コロナウイルス感染症に関連した悩みや不安を速やかに軽減・解消できるよう、市ホームページやSNSを活用して周知するとともに、後遺症のリスク

や感染予防の大切さを啓発していきます。

問 コロナから児童生徒を守り、児童生徒の学びを守るため、家庭でタブレット端末を用いてオンライン授業等ができないか。

教育長 小山市では、令和3年3月に小・中・義務教育学校への1人1台のタブレット端末整備が完了しました。4月から授業等における本格運用が始まり、8月末までに学校におけるインターネット回線の高速化工事が完了しました。タブレット端末の持ち帰りには、児童生徒のICT機器活用の技能向上や教職員の指導力向上、保護者の協力が不可欠であることから、9月現在、操作マニュアルや保護者向け通知の作成、教職員研修等を進めるとともに、児童生徒の操作技能の習得を図り、発達段階に応じて実際にタブレット端末を持ち帰り、家庭で使用する練習を行っています。遅くとも10月中には、すべての学校においてタブレット端末の家庭での活用を促進し、児童生徒の学びを保障する手段の一つとして確立できるよう努めます。

おやま創生会

○苅部 勉 森田 晃吉
土方 美代



苅部 勉
議員

質問事項 ①令和2年度決算に

対する市長の感想②新型コロナウイルス感染症③人口動態④公共交通⑤城山公園再整備事業⑥小山市の歴史と商業の活性化⑦小山市の魅力発信

問 小・中・義務教育学校の新型コロナウイルス感染症予防策として最近実施したこと、ならびに今後計画していることは何か。

教育長 第2学期開始前には、各学校から各家庭に、毎朝の検温等の体調管理および体調不良時の医療機関の受診、ならびに同居家族も含めPCR検査等を受ける場合や、感染の疑い等がある場合の自宅待機と学校への連絡についてメールで周知するとともに、児童生徒の体調確認を行いました。また、9月10日までは短縮授業とし、感染リス

クが高い学習活動は行わないよう各学校に指示しました。さらに、希望する教職員はワクチンを接種済みであり、加えて、大規模・中規模校の抗ウイルスコーティング作業は完了し、小規模校の実施準備を進めています。今後は、各学校に配布される予定の抗原検査キットを活用しながら感染症対策に努めます。

問 おーバスとタクシーが連携する社会実験を実施していると聞いているが、今後の連携についての考えは。

都市整備部長 令和2年度は、定期券norocaをお持ちの方、デマンドバスの利用者にタクシー初乗り料金の割引を行う社会実験を行いました。その結果、割引を受けた方は、行きはバス・帰りはタクシーの利用回数が増加していることを確認しました。令和3年度は、社会実験の対象者に、免許返納によりおーバス無料乗車券を取得した方を追加する予定です。社会実験では、人々の行動変化や新規需要の掘り起こしなどの効果を

確認し、令和4年度以降の実施に向けて検討していきます。

個人質問（発言順に掲載）



山野井 孝
議員

質問事項 ①教育行政②道路行政③河川管理

問 令和2年度に各学校から出された通学路の危険箇所、対策済および対策未完了の数と内容について、それぞれ伺いたい。

市長 令和2年度では、15校から39カ所の危険箇所の改善要望があり、令和2年度内に12カ所の対策が完了しました。完了箇所の内容は、交通指導員の配置、横断歩道の設置、横断歩道の再塗装、防犯灯の設置、グリーンベルトの設置などです。未完了箇所の主な内容は、信号機の設置、ガードパイプの設置、横断歩道や白線の再塗装、歩道の整備、路面標示の設置などであり、令和3年度以降に継続して実施するものや対応に長期間を要するものがありますが、引き続き対策に取り組めます。



荒川美代子
議員

質問事項 ①防災・減災②保健福祉行政

問 流産や死産をした場合も明確に産後健診の対象になることと改善されたが、その方々へのケアが必要と思うが。

保健福祉部長 小山市では、流産や死産後に心理的負担を抱えている方に、子どもが出生したことを前提とした不適切な母子保健サービスの連絡を差し上げることのないよう、住民票に関する事務を所管する市民課との情報共有を図っています。これまでも流産や死産を経験した方から相談があった場合には、保健師などが相談に応じていたが、今後は、その方の状況に合わせて、産後ケア事業や母子心理相談員の心理相談につなげるなど、きめ細やかな支援に努めます。



大木 英憲
議員

質問事項 ①新型コロナウイルススにおける対応

問 小山市独自でコロナに関連する支援や情報を掲載したガイドブックのような一覧を作成し、市民や企業に配布できないか。

総合政策部長 新型コロナウイルススへの対応は、初期の感染拡大防止から、生活支援・産業支援、ワクチン接種による感染予防へと進んでいます。現在では新型コロナウイルス陽性者のうち、自宅療養者に対する支援というように、対応内容が刻々と変化し続けていることから、情報発信の手段は公式ホームページ等の随時更新可能な媒体が適していると考えています。しかし、紙面による情報を求めている方のため、必要とする情報の種類と、その問い合わせ先などをまとめた一覧を作成し、保存版として広報おやまに差し込み配布します。

森田 晃吉
議員

質問事項 ①新型コロナウイルスス対策②福祉行政③教育行政④防犯灯、街路灯

問 重度心身障がい者医療費助成制度について、現物給付方式の考えは。

保健福祉部長 小山市では、医療機関等の窓口で自己負担分を支払い、後日領収書を添付して市に申請する償還払い方式を採用しています。これを、窓口で医療費を支払わなくてよい現物給付方式にした場合、県補助金

小林 英恵
議員

質問事項 ①若者に向けた施策

問 若者に対する支援について、浅野市長の考えを伺いたい。

市長 若者は目標や夢を抱き人生を切り拓いていく世代であり、小山市を担う貴重な人材です。その支援策は就労、起業、結婚、子育て、健康増進、生涯学習、社会参加など多岐に渡り、大変重要なものと考えています。また、多種多様なニーズに対しては専門的な業務を担う部署が連携し、よりきめ細やかな支援を行うことが求められています。

このような状況を踏まえ、生涯学習課では相談内容に応じて各担当部署を案内していますが、今後はさらに的確にニーズに合わせた対応ができるよう調査研究を行うとともに、関係各課との連携を深め、個々の状況に合わせた効果の高い支援策に結びつくよう努めます。

佐藤 忠博
議員

質問事項 ①総合政策行政②消防行政③保健福祉行政

問 障がい者手帳等の申請や更新には、その都度診断書が必要である。経済的支援をするためにも、診断書費用の一部助成をすべきでは。

保健福祉部長 障がい者手帳や補装具の申請に必要な診断書の発行には、1件当たり5千円程度の費用が発生します。仮に、診断書の発行費用の半額を市が補助した場合は、年間で約270万円の費用負担が発生すると見込まれます。その自己負担分の補助については、県内他市の状況を参考にしつつ、財政状況も勘案しながら検討したいと考えています。



保健福祉部長 小山市では「小山市高齢者施設新規入所者PCR検査補助事業」を実施しているとともに、「通所及び訪問介護職員PCR検査費用補助事業」の準備をしています。さらに、市内の社会福祉施設などで新型コロナウイルス陽性者が複数発生した場合など、陽性者との接触が懸念される方に対して、抗原定量検査およびPCR検査ができる対策を検討しています。そのほか、医療機関で抗原定量検査またはPCR検査を行った場合の検査費用の一部助成制度や、事業者が従業員などに抗原検査を行う場合の検査キット購入費補助制度の準備をしています。

問 県内の他自治体が実施している市民等のPCR検査費用の助成について、小山市でも実施できないか。



平野 正敏
議員

質問事項 ① コロナウイルス対策②福祉行政

総務部長 寄附金受け入れの窓口は、教育や学校などの教育委員会関係は教育総務課、健康や福祉などの保健福祉部関係は福祉課、小山評定ふるさと応援寄附金に関しては総合政策課、それ以外の市長部局関係は管財課となります。受け入れ手続きの流れは、寄附申込者から申込書を提出いただくと、小山市から領収書をお渡しします。また、申込者の意向を伺ったうえで、お礼状や感謝状の贈呈、市議会への報告およびホームページへの掲載などを行っています。なお、寄附は金額に関わらず受け付けています。

問 寄附金手続きの流れについて、窓口、金額なども含めて伺いたい。



片山 照美
議員

質問事項 ① 令和3年度職員配置②小山市に対する寄附金

請願・陳情のしかた

市議会に対しての要望や意見を文書で提出することができます。

紹介議員のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいますが、取り扱いに違いはありません。

採択となった請願・陳情については、関係機関に送付します。

当市議会では、年4回の定例会（2・6・9・12月）が開催されており、原則として、開会の7日前までに提出されたものを審議しますので、早い時期での提出をお願いいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。（☎0285-22-9463）

『請願・陳情の提出書式例』

- ◎あて先(小山市議会議長あて)、提出日、件名、理由を記入してください。
- ◎住所、氏名を記入し、必ず押印してください。
- ◎請願・陳情者が多数の場合は、代表者を決めてください。
- ◎請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要となっています。
- ◎用紙のサイズは、A4版で提出ください。

請願書(陳情書) 令和 年 月 日 小山市議会議長 あて 請願者(陳情者) 住所 TEL 氏名 ㊟ 他 名 紹介議員 氏名 ㊟	(件名) _____ (趣旨) _____ _____ (理由) _____ _____ _____
---	--

議会日誌

▽11日	議会広報委員会／議員説明会
▽10月	
▽29日	議会運営委員会
▽17日	代表者会議
▽16日	算審査特別委員会／決算審査常任委員会
▽15日	建設水道常任委員会
▽14日	教育経済常任委員会
▽13日	民生常任委員会
▽8日	議会運営委員会
▽6日	会派代表者会議
▽2日	議会広報委員会／議員説明会
▽9月	
▽27日	議会運営委員会
▽12日	議会運営委員会
▽10日	議員説明会／議会運営委員会
▽4日	市執行部との定例懇談会／会派代表者会議
▽8月	
▽14日	栃木県南6市議会議長会定例会（書面会議）
▽7月	

次回定例会の予定

11月30日(火)	本会議（開会・議案上程）
12月2日(木)	本会議（一般質問）
12月3日(金)	本会議（一般質問）
12月6日(月)	本会議（一般質問）
12月7日(火)	本会議（一般質問・付託）
12月9日(木)	委員会
12月10日(金)	委員会
12月13日(月)	委員会
12月14日(火)	委員会
12月15日(水)	委員会
12月23日(木)	本会議（採決・閉会）

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定します。決定内容は、小山市議会ホームページでご確認いただけます。

※本会議については、ケーブルテレビおよびインターネットでもご覧いただけます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に、ご協力をお願いいたします。



本会議は
インターネットで
ご覧になれます。

市議会本会議のインターネット中継・録画配信をおこなっています。ぜひご活用ください。



（小山市議会ホームページからリンクしています。）
<http://www.oyama-city.stream.jfit.co.jp/>

議会だより
表紙写真募集



- あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
- 写真は「議会だより」の発行月（1月・2月・5月・8月・11月）に合わせた小山市内の季節感のあるものを募集しています。

あて先／小山市中央町1丁目1番1号 小山市議会事務局
●問い合わせは…議会事務局（☎22-9463）までお気軽に！



未だ終息しない
コロナ禍の中、市民の皆さまに生活環境の変化や経済的变化など、心身ともにお疲れのことと存じます。ですが、人類の歴史を紐解けば疫病や自然災害との戦いを幾度も乗り越え、生存競争の中、打ち勝ってきました。「愚者は経験に学び、賢者は歴史から学ぶ」ドイツの名宰相であるオットー・ビスマルクの言葉です。

私たち議員一同、今できる最善のことを全力で取り組まさせていただきます。その政策の是非は五十年後・百年後の歴史が証明してくれそうです。一人でも多くの市民に今わかる正確な情報を発信していくことはもとより、後世のために今の取り組みを活字として残していく、これもまた広報委員会の使命だと感じております。この議会だよりの一部でもいい一言でもいい、皆さまにとっての一筋の希望の光となることを祈念して、私たち市議会も市民の皆さまと、共に考え、共に歩み、共に戦ってまいります所存です。

（土方）